CLT使用の建築現場見学会

腰原氏招き講演会も

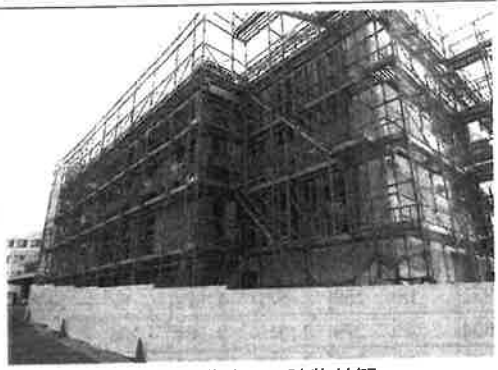
南東北春日デイサービス

建設が進んでいる南東北春日デイサービス（仮称）の構造説明会と現場見学会が11月29日、福島県須賀川市内で開かれた。説明会では、建物の構造説明のほか腰原幹雄東京大学教授による講演も行われた。

南東北春日デイサービスは木造3階建てで、床や壁などにCLTが使われている（12月7日付既報）。この事業は2016年度CLT建築物等普及促進事業に採択されており、今回の説明会及び見学会はその一環。会場には地元の建築業者や木材業界の関係者など150人近くが集まった。

構造説明では、建物の設計や木材の使い方、柱脚金物の特徴といった建物そのものの構造や床の遮音性など今後の実証実験の内容などについて説明された。

その後の講演で腰原氏は「大規模木造建築の標準化」というテーマで、近年の大規模木造物件を紹介しながら大型木造物件の現状と今後の課題を語った。このなかで、腰原氏は「これまでは郊外型の特殊な大型物件が多かった」と話したうえで、大規模木造建築の技術開発が進んだことで、駅前など都市部でも大型物件の建設が可能になっていることを説明した。「今後はどのように木の魅力を生かした物件を出していくかが重要になっている」と話した。



木造3階建ての建物外観